

合志市地球温暖化防止実行計画書（事務事業編）

合志市エネルギービジョン

■ 計画の背景

- 気候変動の影響、国際的な温暖化対策の推進、国の掲げる「2050年カーボンニュートラル」等を踏まえ、市役所が率先して地球温暖化防止活動を実施することで、各家庭や事務所での取組につなげるため、市役所自らの事務、事業に伴って排出される温室効果ガスの排出抑制活動について、実行性のある計画を策定して行動します。

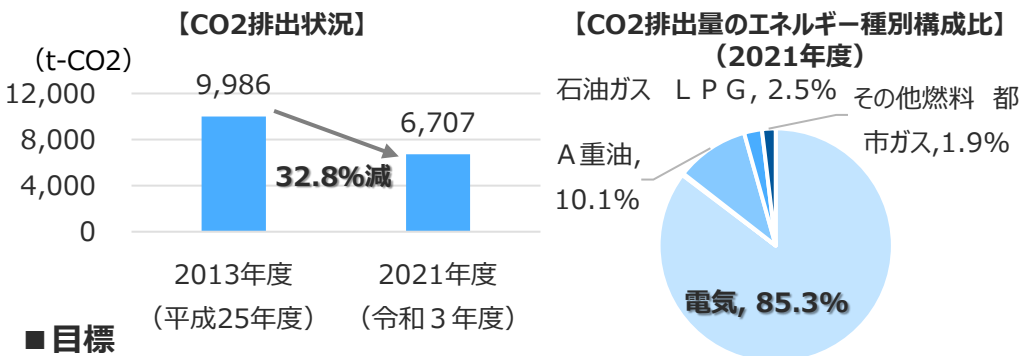
■ 対象範囲・期間等

- 対象とする範囲：市役所すべての事務・事業
- 計画期間：令和5年度（2023年度）～令和12年度（2030年度）

令和5年度を脱炭素元年として、以降3か年集中的に取り組みます

■ 温室効果ガスの排出状況

- 2021年度の温室効果ガス排出量は6,707t-CO₂で、2013年度対比32.8%減です。
- 2021年度温室効果ガス排出量の約85%を電気の使用が占めています。



■ 目標

基準年度を平成25年度（2013年度）とし、令和12年度（2030年度）までに、温室効果ガス総排出量を、**50.0%削減**することを目指します。

■ 目標達成に向けた取組

- 再生可能エネルギー導入**、公共施設における**省エネルギー**をより一層進めていきます。
- 地球温暖化対策に関する**専門部署**を事務局として設置し、取組を着実に推進します。

主な対策	概要
再生可能エネルギーの導入推進	公共施設等における太陽光発電設備の導入
行政における省エネルギーの推進	高効率空調機器・照明機器更新 公共施設長寿命化（LED化）改修 庁舎におけるエネルギー設備の運用改善 等
エコオフィス活動の推進	省エネルギー・省資源化・グリーン調達等の推進

■ 計画の背景

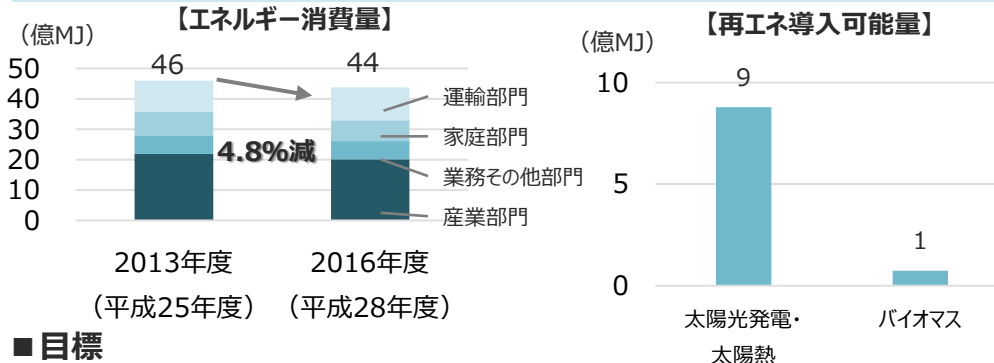
- 合志市は、熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画に基づき、都市圏の市町村と共同で地球温暖化対策に取組み、脱炭素化と持続可能で豊かな都市圏の実現を目指しています。エネルギービジョンでは合志市の市域全体の温室効果ガス排出削減施策や再エネ利用促進施策について取りまとめます。

■ 対象範囲・期間等

- 対象とするエネルギー：主に電力
- 計画期間：令和5年度（2023年度）～令和12年度（2030年度）

■ エネルギー消費状況・再エネ導入可能量

- 2016年度のエネルギー消費量は44億MJで、2013年度比4.8%減です。
- 2016年度エネルギー消費量の約48%が産業部門による排出です。



■ 目標

基準年度を令和3年度（2021年度）とし、令和12年度（2030年度）までに再生可能エネルギーを**2.77kW**以上導入し、**3,900万kWh/年**以上活用することを目指します。

■ 目標達成に向けた取組

※主に電力の導入を検討するため、単位をkW及びkWhとしています。

- 既存再エネ活用**及び**新規再エネ電源開発**を合志市・市民・事業者一体で推進します。
- 市内の地産地消を実践する**地域エネルギー事業**を推進します。

主な対策	概要
市民生活における脱炭素の推進	市民向け脱炭素補助金支給制度の導入
熊本連携中枢都市圏と連携した脱炭素社会実現に向けた取組	太陽光発電設備の利用促進 省エネルギー改修の推進 水資源の保全 COOL CHOICEの推進 等